

フラッグフットボール作戦 コンクール全国優勝

桜原小学校3年1組がフラッグフットボール第9回作戦コンクールにおいて、応募作戦1,370の中で、見事、中学年の部で全国優勝に輝きました。フラッグフットボールは、アメリカンフットボールから生まれた新しいスポーツであり、ボールではなく、腰に付けたフラッグをとります。フラッグフットボールは作戦で勝負するスポーツであり、運動が得意な子も、苦手な子もそれぞれ良さを発揮しながら、知恵を絞って作戦を考えていきます。みんなで協力し、何度も作戦を試しては繰り返し、勝ち取った結果は子どもたちに「努力が結果につながる」貴重な体験を与えてくれました。次は昨年度の4年1組に続き3連覇をめざし、学校一丸となつてがんばっていきます。



▲表彰式の最後に記念撮影!

「あいさつ・声かけ運動」 街頭啓発を実施しました



▲あいさつ・声かけをしながら啓発物品を配付しました



おハロー

3月5日(火)~7日(木)の7時~8時、JR宇美駅前広場で、宇美町青少年育成町民会議の主催により「あいさつ・声かけ運動」の街頭啓発が行われました。青少年健全育成に関わる団体から、3日間で約140人の方が参加しました。

平成25年度募集により決定した推進キャラクター「おハロー」と一緒に、今後も啓発に取り組んでいきます。※この会議は、青少年問題のもつ重要性を考え、広く町民の総意を集め、国、県および町の施策を生かして、青少年の健全な育成および非行防止を図ることを目的とし、宇美町の青少年健全育成に関係のある機関、団体によって組織されています。

小中学校で卒業式が行われました

3月8日(金)に町内3中学校で、15日(金)に町内5小学校で卒業式が行われました。今年は、中学生373人、小学生404人が新たな道へと旅立ち、在校生や保護者からの温かな拍手に包まれました。

宇美中学校の卒業式では、背筋を伸ばし凛々しい姿勢の卒業生の姿があり新たなスタートラインを見据えているようでした。

桜原小学校の卒業式では、呼名に大きな返事をし、堂々と卒業証書を受け取る卒業生の姿に、6年間の成長が感じられました。



▲校長先生から卒業証書が手渡されました(桜原小)



▲凛々しい姿勢で卒業式に参列する卒業生(宇美中)



▲受賞後に副知事と小林さんを中心に集合写真

町長 この度は大賞受賞おめでとうございます。小林 ありがとうございます。副町長 受賞の瞬間の気持ちは、小林 驚きが大きかったです。受賞時のスピーチでは泣いてしまい、自分でも何を喋っているかわからなかったです。ここまで来た道のりのさまざまなお話を思い出していました。福岡よかとこビジネスプラランコンテストは今回で4回目を迎えて今年も参加者が増えてレベルが上がっており、福岡県内から73人の方が集まった中で受賞できたのも良かったです。町長 宇美町青年団での博多にわか経験が活かされたのでは? 小林 度胸がついてたのでしようね。ただ、多くの審査員が見ている中で喋らないといけないこと、質疑応答ではシビアな部分を質問されるのでとても緊張しました。町長 「ヤギ」という珍しさも好評だったのでは? 小林 確かにヤギという珍しさは目を引いていましたが、それだけで賞をいただくのは難しいと感じていました。実際に審査員の方からは、ヤギのミルクが人の母乳に近いものであるということと、宇美町の由来と宇美八幡宮の安産・子育てのイメージがぴったり合っていたことに対して、非常に好評価をいただきました。町長 新聞でも大きな記事で取り上げられていたね。小林 表彰式後に突然、明日新聞に掲載されることを聞いて私も驚きました。家族も驚いていましたが、何よりも喜んでくれたと感じています。私は仕事柄町内の方々に灯油を持っていく際、お客様とお話しをする機会が多く、私がコンテストに出ることをお伝えしていたのですが、改めて大賞を受賞したことを伝えると、とても喜んでいただきました。副町長 この事業を始めて何年経ちますか? 小林 3年半になります。大変な道のりでありましたが、今年が勝負だと思っているのです。このスタートが切れたと思っています。一人だと大変で

したが、宇美町商工会の方特に北村さんに指導していただけたから、ここまで諦めずにやりました。副町長 北村さんの目から見た小林さんの姿はいかがでしたか? 北村 彼はこれまでさまざまな壁にぶつかってきたが、それでも諦めずに続けてきたことが、このままでは足りないポイントだと思えます。多くの方は、あまりの大変さに途中で諦められる方もいらっしゃいます。小林さんは本当に最後まで諦めなかつたです。小林 ここから飛躍できるように、次に繋げていければと思います。町長 今後の展望はありますか? 小林 町内のみならず「宇美町って良いよね」と思えるようになるために、まずは町外の人から「宇美町って良いよね」と言ってもらえるような活動をしていきたいです。特に子どもを大事にするというキーワードで輝ける町は他にないと思います。それを自信を持って言える歴史が宇美町にはありますから、それをアピールしていければと思います。町長 宇美町制施行100周年へ向け、勢いがつく良いニュースとなりました。小林 私も2020年を素晴らしい飛躍(100)の年にしたいと考えています。副町長 改めておめでとうございます。

福岡よかとこビジネスプランコンテスト 小林孝昭さん(宇美町)が大賞を受賞

第4回を迎えた、福岡県主催「福岡よかとこビジネスプランコンテスト」は、3月2日(土)に公開審査会と表彰式が行われ、応募数73人の中から見事、小林孝昭さんが大賞を受賞されました。

宇美町商工会の北村経営指導員が宇美町を訪ねられ、木原町長と高場副町長へ大賞受賞をご報告された際の主に小林さんのお話について紹介します。

したが、宇美町商工会の方特に北村さんに指導していただけたから、ここまで諦めずにやりました。副町長 北村さんの目から見た小林さんの姿はいかがでしたか? 北村 彼はこれまでさまざまな壁にぶつかってきたが、それでも諦めずに続けてきたことが、このままでは足りないポイントだと思えます。多くの方は、あまりの大変さに途中で諦められる方もいらっしゃいます。小林さんは本当に最後まで諦めなかつたです。小林 ここから飛躍できるように、次に繋げていければと思います。町長 今後の展望はありますか? 小林 町内のみならず「宇美町って良いよね」と思えるようになるために、まずは町外の人から「宇美町って良いよね」と言ってもらえるような活動をしていきたいです。特に子どもを大事にするというキーワードで輝ける町は他にないと思います。それを自信を持って言える歴史が宇美町にはありますから、それをアピールしていければと思います。町長 宇美町制施行100周年へ向け、勢いがつく良いニュースとなりました。小林 私も2020年を素晴らしい飛躍(100)の年にしたいと考えています。副町長 改めておめでとうございます。



▲100周年を迎える2020年を飛躍(100)の年に!



▲著名な審査員を前に堂々とプレゼンを行う小林孝昭さん

福岡よかとこビジネスプランコンテストとは

福岡県主催。県内各地の地域資源を生かした新ビジネス、または、地域課題を解決する新しいビジネスを創出するため、地域資源や地域課題と福岡県内において創業を希望する方のアイデアやノウハウを掛け合わせ、地域経済の活性化を図ることを目的に実施。3月2日(土)は、一次審査(昨年11月)、二次審査(今年1月)の厳しい審査を勝ち抜いた方によるプレゼンテーションの公開審査会と表彰式が行われた。

小林さんのプレゼン内容は——
テーマは「誕生を願う町と子供の成長を願い飲まれてきたヤギミルクで『産み愛す』の想いを次世代に繋げていく商品開発」。宇美町の良さを知ってもらうため「宇美町の特産品を作りたい!」との想いから宇美町の「産み」にちなみ、母乳に近く栄養価も高いヤギミルクから作ったアイス「うみあひす」の商品開発について提案。

問(有)小林商事 ☎932-0137